

(2) 認知症自立度別のサービス未利用の理由

- 認知症自立度別のサービス未利用の理由をみると、認知症自立度自立+ I、IIにおいて「本人にサービス利用の希望がない」が最も高くなっていました（図表 6-2）。
- 自立+ I では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 21.7%でした。認知症自立度IIでは「以前、利用していたサービスに不満があった」が 14.3%となっていました（図表 6-2）。

図表 6-2 認知症自立度別のサービス未利用の理由

